

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス なないろ			公表日	令和8年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・職員数については、子ども一人ひとりに丁寧な支援が行えるよう、適切な人員配置の確保に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・室内にはプレート表示や一日の流れを可視化するなど、お子様にとって分かりやすい環境づくりを行っています。	設備については、現在大きな支障はありませんが、必要に応じてバリアフリー化等も検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・日々の清掃や整理整頓、衛生管理を行い、安全で快適に過ごせる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・子ども一人ひとりの状態に応じて過ごし方を選べるよう環境を整えています。 ・静養室や学習室を設けることで、安心して過ごしながら気持ちの切り替えができるよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・ミーティングや日々の話し合いを通して情報共有を行い、業務改善につなげています。	どのスタッフも意見を自由に出し合うことができているが、振り返りについては今後取り入れていけるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	6		保護者の評価も今回初めて実施したため、今後改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・日々の情報共有に加え、経験豊富な職員間で意見交換が活発に行われており、より良い支援につながっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	・第三者評価は行っていません。	第三者による外部評価は実施していませんが、今後、必要があれば実施も検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・外部、内部の研修機会を増やし、職員の知識や支援技術の向上に努めています。	次年度は、外部、内部の研修機会を積極的に活用し、職員のスキル向上を図っていきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・支援プログラムは、職員間で意見を共有しながら作成し、公表しています。	今後も内容の見直しを行い、より適切な支援につなげていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・アセスメントは、保護者および本人と丁寧に話し合いを行い、意見を聞き取りながら作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・月に一度のミーティングで振り返りや課題整理を行い、その内容を議事録として共有することで、非常勤職員を含めた支援内容の統一につなげています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・日々の声かけの方法や目標について、計画に基づくだけでなく、その都度職員間で共有し、支援内容の統一を図っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・フォーマルなアセスメント（標準化尺度）は実施していませんが、保護者や相談員、学校との情報交換を通して、インフォーマルなアセスメントを行っています。	必要があれば標準化された、ツールの活動を検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・毎月のミーティングで、5領域を踏まえながらレクリエーションの内容を検討しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・季節の行事を取り入れた活動を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・日々の集団活動に加え、子どもの状況に応じた個別支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・その日の流れや担当する子どもについて事前に振り分けを行い、職員間で役割分担をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・終礼時に常勤職員で話し合いを行い、当日の振り返りや情報共有を行っています。	先に帰る、非常勤職員とも情報共有が図れるよう、工夫しながら体制づくりに努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・保護者が写真を通して活動の様子を確認できるように、記録の徹底に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・定期的に、ミーティングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・無理に活動を促すのではなく、「やりたくない」といった意思表示も尊重しています。 ・本人が安心して選択できる環境を整え、意思を尊重しながら活動への参加や過ごし方を支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・就学に関する会議に管理者が参加し、関係機関との情報共有や連携を図っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・幼稚園や小学校と同様の支援が行えるよう、関係機関との話し合いに参加し、支援内容の共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・受け渡しの際に、保護者と日々の様子について情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		今年度開設の施設であるため、次年度に向けて情報共有体制の整備を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	・該当者なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		・該当者なし。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		・地域の他のお子様バイオリン演奏会を事業所内で開催しました。 ・地域の公園や散歩中に交流する機会はあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		・管理者研修、協議会の研修にも参加しました。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・面談や送迎の際に保護者から伺った内容について、職員間で共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時などにお伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談で話し合った内容を踏まえ、本人に必要な支援内容について検討しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・説明時には、内容を確認し同意を得ており、必要に応じて支援内容の変更が可能であることも伝えていきます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・相談を受けた際は、職員間で情報を共有し、必要に応じて助言や対応を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		今後どのように交流の機会を設けていくか検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・職員間で連携を図り、有事の際には迅速に対応できる体制づくりに努めています。	現在までに大きな苦情の事例はありませんが、今後は報告書の記録体制を整備していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・レクリエーションカレンダーは毎月配信しています。	SNSについては、今後も継続的に情報発信ができるよう更新していきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報の載っている物は鍵付きの書庫で管理し、破棄するさいはシュレッダーにかけています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・お子さまの特性や発達段階に合わせた支援を心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・開所時に市議会議員に來所いただき、事業所を知っていただく機会を設けました。	今後、要望があればいつでも対応出来るようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・研修・訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・研修・訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・面談時や必要に応じて確認を取っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・アレルギーの有無を確認し、対応（他のお子さまと距離を離すなど）に努めています。	必要時には医療機関と連携していき、緊急時には迅速な対応が出来るよう対応の確認を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・研修や訓練、日ごろの中でも安全に配慮して支援しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハット報告書を作成して、月に一度事例について話し合い、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・外部や事業所内での研修を行い、職員の意識や認識を共通にしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	・身体拘束を行う事例はありませんでした。	身体拘束を行う場合には、事前に保護者様に説明し、了解を得るようにしていきます。	